

【職員紹介】

八幡健太 児童指導員
所属：福祉型障害児入所施設
てしろもりの丘 よつば
採用：令和2年度採用
仕事内容：利用者支援等



【仕事について】

Q 仕事をする際に心掛けていることはありますか？
A 一番大切にしていることは、一方的な支援は行わないことです。利用者様それぞれに障がい特性があるため、問題行動に対してなぜそのような行動を起こしてしまったのか原因を探っていくことが大切です。その原因に対して、利用者様と共に解決することが出来るように支援しています。

Q 仕事の成功談はありますか？
A 入所時は、排泄がスムーズに出来なかった利用者様に対してトイレ誘導の方法など支援の方法を工夫したことで排泄が依然よりも上手になったことです。利用者様の出来ること、出来ないことを把握し、出来ないことを出来るように変えたことは成功だったと思います。

Q 仕事の失敗談はありますか？
A ふらつきがある利用者様を支えることが出来ず、転倒させてしまったことです。これくらいなら支えることが出来るだろうと、リスクに対する想定が甘かったことは失敗だったと思います。他にも、利用者様の人間関係や障がい特性を把握しないまま遊びを行った結果、喧嘩になってしまったことは失敗だったと思います。

Q 失敗から学んだことはありますか？
A 利用者様の障がい特性や想定されるリスクを考えてから支援をするように変えました。リスクに対して職員同士でコミュニケーションを取り、情報共有を図ることによって安心して支援をすることが出来るようになりました。私自身、落ち着きが生まれたことによって支援の視点を広げることが出来ました。

Q 仕事のやりがいがありますか？
A 新規や重度の利用者様は出来ないことが多くあります。その中で、食事や歯磨きなど出来ないことを出来るように支援の方法を利用者様ごとに変えて、職員同士で連携して良い方向に繋げることが出来たときはやりがいを感じます。

【福祉について】

Q なぜ、福祉で働くことを選びましたか？
A 実際現場で働く職員と利用者様の関わる様子や支援関係を見て、魅力を感じました。また、人を支える仕事がしたいと思ったのがきっかけです。

Q 働いてみて福祉に対する印象は変化しましたか？
A 働く前は利用者様を支える、支援をやってあげなくてはならないものだと考えていました。しかし、実際一緒に生活をするようになって、利用者様は障がいによって様々な制限がある中で、精一杯生活していることを知りました。互いに関わりながら、共に生活していくことが大切だと感じました。

【今後について】

Q 今後はどのような支援者になりたいですか？
A 利用者様に対しての支援は模索中です。ただ、利用者様に楽しんでもらえる遊びの知識や利用者様に適した支援が行えるような技術は身につけていきたいです。他にも私は、当初出来ないことが多く、責任を感じ落ち込むことがありました。そんな時、他の職員からお話をして頂いたり助言を頂いたりして、少しずつ不安を解消させることができました。今後は私も、このように職員に対してフォローすることが出来るように成長していきたいです。

Q 最後に学生へのメッセージはありますか？
A 失敗を恐れずにたくさんの事に挑戦し、経験してください。将来、成功よりも失敗の方が力となり、役に立つことが多いです。失敗を失敗のまま終わらせるのではなく、次に生かすことが出来るように、改善して取り組むことを大切にしてください。

